

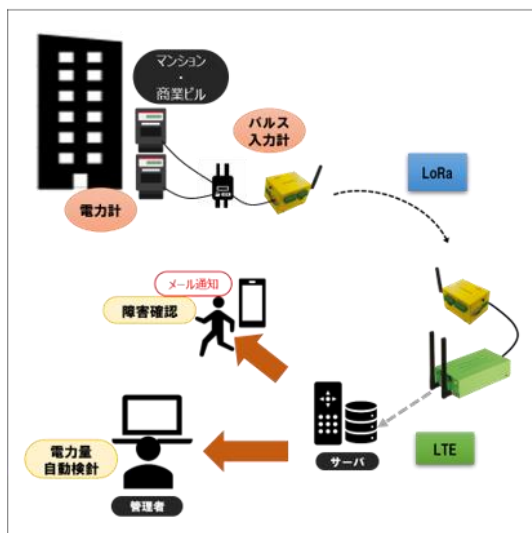
テナントやマンションの電気代請求処理『電力計検針を無線で効率化』

■課題

商業施設内のテナントやマンションには多数の電力計が設置されています。設置数の多い所では数日に渡って人の手作業で個別に記録を行います。手作業では記録ミスリスクもある上、巡回検針に要する時間以外にも記録データの集計や帳票作成も必要となり、非効率な業務で大きなコストに課題が上がっています。

■概要・期待効果

電力計にパルス入力機器を接続し、検針データ取得を無線化する事で、現地での人手による定期検針作業を無くします。無線化で収集された検針データはサーバ側で集められ、データ閲覧や請求管理に活用し、多くの時間の短縮化へ期待ができます。自動化で常時検針データが集まる事で、設備異常の早期発見にも期待できます。



[使用機器・サービス]

- パルス入力計測
 - ・電力計パルス接続
- SpreadRouter-A
 - ・パルス入力計測機器(RS485)
 - ・LoRa 無線で送信
- SpreadRouter-LTE
 - ・LTE 回線でデータをサーバへ送信